

## 野菜の作業

凍霜害の時期です。晩霜には気象情報を参考に万全を期しましょう！

種まき	定植 (植付け)	栽培のポイント												
<b>播種</b> ・ホウレンソウ ・コマツナ ・ブロッコリー ・シュンギク ・ニラ ・チンゲンサイ ・エンドウ ・ダイコン(トンネ)	・レタス ・ジャガイモ  ・ミョウガ	<b>【バレイショの定植】</b> ・植付けが遅れるほど減収します。適期に植えられるように準備を進めましょう。標高500mでの植付け適期は4月上旬です。(100m上がる毎に5日遅らせます) ・施肥量：10㎡あたり堆肥20Kg・化成肥料1Kgを全面施用 ・栽植密度：うね幅60cm×株間30cm。 ・種芋は頂芽を中心とし50g程度に切って植えます。 ・黒マルチの使用は初期生育を速めるとともに除草にも効果的ですが、萌芽時に芽を焼かないよう注意が必要です。												
<b>育苗</b> ・トマト ・ナス ・ピーマン ・キュウリ	・ブロッコリー ・チンゲンサイ (3月播種の苗) ・ウド(根株)	<b>【アスパラガス収穫期の管理】</b> ・萌芽前の除草剤散布												
温床線により 13~15℃以上の夜温確保を行う！		<table border="1"> <thead> <tr> <th>除草剤の種類</th> <th>対象雑草</th> <th>処理時期・方法</th> <th>散布量 (10a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロロック(水)</td> <td>広葉雑草</td> <td>・雑草発生前</td> <td>150~200g</td> </tr> <tr> <td>トリアリド(乳)</td> <td>イネ科雑草</td> <td>・土壌全面処理</td> <td>200~300ml</td> </tr> </tbody> </table> 注意事項 ・10aあたり水100リットルに溶かし動噴で均一に散布する。 ・広葉、イネ科双方の雑草が多い場合は上記薬剤を混用する ・遅霜対策 スズ上げなしで換気と作業が効率よくできる保温資材「らくらくシート」があります	除草剤の種類	対象雑草	処理時期・方法	散布量 (10a)	ロロック(水)	広葉雑草	・雑草発生前	150~200g	トリアリド(乳)	イネ科雑草	・土壌全面処理	200~300ml
除草剤の種類	対象雑草	処理時期・方法	散布量 (10a)											
ロロック(水)	広葉雑草	・雑草発生前	150~200g											
トリアリド(乳)	イネ科雑草	・土壌全面処理	200~300ml											
<b>鉢育苗</b> ・オクラ ・モロヘイヤ	収穫開始 ・アスパラガス 	<b>【スイートコーンの播種】</b> ・トンネル早熟栽培は4月上旬にポット播きをし、本葉3枚の頃、定植を行うと7月上旬に収穫が可能 ・露地マルチ栽培の「直まき」は4月下旬~7月上旬が播種期 4~5回に分けて順次播種を行うと長期間収穫が可能。 ・施肥量：堆肥30Kg、苦土石灰1Kg、化成肥料1Kg(10㎡) ・栽植密度：うね幅90cm、株間30cmの千鳥播きで1穴3粒 ・間引き：本葉4枚の頃に1本に間引く(はさみで切る)												
<b>播種</b> ・スイートコーン ・カブ ・葉ネギ														

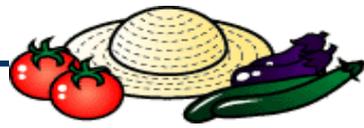
### 野菜ひとくちメモ ヤーコン

ヤーコンは南米(アンデス地方)原産のキク科の多年草です。日本への導入は1985年なので、まだ新しい野菜ですね！

#### 【ヤーコンを植えてみよう！】

- ・霜には弱いので、春の早植えには注意が必要(ポリマルチ栽培が良い)
- ・完熟堆肥を施用し、25cm以上の高めの畝を作る(深耕も大切)
- ・株間60cm×畝間100cm(栽植幅が狭いと芋の生育が妨げられる)
- ・夏季には高温になるのでポリマルチは取り除く





# 農業豆知識

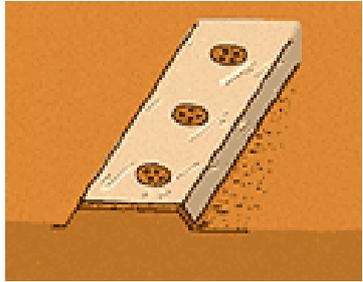
## 質問コーナー

畑の準備の季節となりました。

種まきや、苗の定植前の「畑の準備」についてポイントを教えてください。

4月になり暖かくなってきましたので「今年はあるも作りたい！これも作ってみたい！」といろいろお考えの事と思います。「畑の準備のポイント」を参考に計画的な作業を行って下さい。

### 【畑の準備のポイント】

NO	準備作業	作業のポイント																											
1	作付け計画の作成	輪作を主体に考え、何をどの位作るか計画を立てましょう！																											
2	堆肥の散布	完熟堆肥を用意し100kg/aを目安に施用しましょう（定植1ヶ月前）																											
3	土壌酸度の矯正	土壌診断により石灰を散布し、土壌酸度を適正に矯正しましょう（同上）																											
4	基肥の施用	化成肥料やBB肥料等の基肥は、は種（定植）作業の2週間前には施用し肥料と土を馴染ませておきます																											
5	ポリマルチの活用	<p>春先は地温が低いので初期生育確保のためポリマルチの活用が効果的です。は種（定植）当日に張るのではなく、基肥を施用したら土壌水分が適正な時を見計らい早めに張って地温を上げておきます。</p> <p><b>【有孔ポリマルチ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリマルチには、は種（定植）作業がし易いように予め穴を空けてある有孔ポリマルチがあります。</li> </ul>																											
		 <p>ポリマルチで地温確保を！</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">有孔ポリマルチの規格</th> <th rowspan="2">主な対象作物</th> </tr> <tr> <th>幅 (cm)</th> <th>条数</th> <th>条間 (cm)</th> <th>株間 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95</td> <td>2</td> <td>45</td> <td>30</td> <td>ダイコン・レタス・スイートコーン</td> </tr> <tr> <td>95</td> <td>2</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>ハクサイ</td> </tr> <tr> <td>130</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>ホウレンソウ</td> </tr> <tr> <td>130</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>ニンジン、サラダナ、ホウレンソウ</td> </tr> </tbody> </table> <p>穴の大きさは、小（45mm）、中（60mm）、大（80mm）がある。</p>	有孔ポリマルチの規格				主な対象作物	幅 (cm)	条数	条間 (cm)	株間 (cm)	95	2	45	30	ダイコン・レタス・スイートコーン	95	2	45	45	ハクサイ	130	6	16	15	ホウレンソウ	130	7	15
有孔ポリマルチの規格				主な対象作物																									
幅 (cm)	条数	条間 (cm)	株間 (cm)																										
95	2	45	30	ダイコン・レタス・スイートコーン																									
95	2	45	45	ハクサイ																									
130	6	16	15	ホウレンソウ																									
130	7	15	15	ニンジン、サラダナ、ホウレンソウ																									

## 減化学農薬栽培に向けて！

**化学農薬の散布回数を減らす方法**としては、雨よけ栽培、寒冷紗等による物理的な病害虫の遮断や、抵抗性品種の活用、接木苗の活用などがあります。

化学農薬を用いる場合でも、は種（定植）時の「粒剤使用」により初期防除を行うことで、害虫の密度を低下させ、生育後半の化学農薬散布回数を低減させることが可能です。

### 【粒剤による害虫防除の例】

農薬名	作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
アトマイヤー-1粒剤	トマト・ミニトマト	アブラムシ類	1~2g/株	定植時	植穴土壌混和
		コジラミ類			
オンコル粒剤5	ばれいしょ	アブラムシ類	4kg/10a	植付時	植溝土壌混和
	はくさい	アブラムシ類	2g/株	定植時	植穴土壌混和
	だいこん	キジノミハムシ・アオムシ	3~6kg/10a	は種時	播溝土壌混和

### 農薬使用の注意事項

- ・農薬の使用に際しては「適用内容」を確認して使用をしましょう。（適用内容は農薬の瓶、袋に記載されています）
- ・防除日誌の記帳を必ず行いましょう。

技術事項作成協力  
上小農業改良普及センター  
白石主査（TEL 25-7157）